

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成24年11月6日

**【四半期会計期間】** 第67期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

**【会社名】** ペガサスミシン製造株式会社

**【英訳名】** PEGASUS SEWING MACHINE MFG. CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 清水盛明

**【本店の所在の場所】** 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

**【電話番号】** 06-6451-1351

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 舟引康之

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

**【電話番号】** 06-6451-1351

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 舟引康之

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第66期 第2四半期 連結累計期間		第67期 第2四半期 連結累計期間		第66期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		6,343,579		4,941,620		11,152,155
経常利益又は経常損失( )	(千円)		279,950		228,411		78,505
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失( )	(千円)		128,065		152,433		149,810
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		428,709		42,373		43,885
純資産額	(千円)		9,689,539		9,088,269		9,171,427
総資産額	(千円)		18,762,893		18,298,368		17,542,474
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期(当期)純損失金額( )	(円)		5.58		6.78		6.53
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		5.56				
自己資本比率	(%)		49.9		47.7		50.3
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		381,971		368,825		677,981
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		124,691		307,634		553,492
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		122,128		458,014		232,350
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		4,012,218		3,153,136		2,610,211

回次		第66期 第2四半期 連結会計期間		第67期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ( )	(円)		0.23		10.26

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第66期及び第67期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在しますが1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、個人消費に陰りがみられるようになり、円高の定着や海外景気の停滞により輸出や設備投資も軟調に推移いたしました。世界経済につきましては、欧州債務問題の継続、中国経済の減速に加え、緩やかな回復基調にあるとされる米国経済につきましても、先行きの不透明感をめぐえない状況で推移いたしました。

工業用ミシン業界におきましては、世界経済の動向を反映し、各国の縫製メーカーの設備投資意欲が低調に推移いたしました。自動車部品を中心とするダイカスト部品につきましては、米国市場向けが堅調に推移したことなどにより、当社グループ製品に対する底堅い需要が継続いたしました。

このような環境のもとで、工業用ミシンについては、引き続き販売価格の見直しや製造コストダウンに努め、ダイカスト部品については、増産に注力いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49億41百万円（前年同四半期比22.1%減）となり、営業損失は1億円（前年同四半期は営業利益4億90百万円）、経常損失2億28百万円（前年同四半期は経常利益2億79百万円）、四半期純損失は1億52百万円（前年同四半期は四半期純利益1億28百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### （工業用ミシン）

工業用ミシンにつきましては、円高の継続や、各国の縫製メーカーの設備投資意欲が低調に推移する中で、販売価格の見直しや製造コストダウンに注力し、加えてサービスや品質の一層の向上に努めました結果、売上高40億52百万円（前年同四半期比29.3%減）、営業利益87百万円（前年同四半期比88.4%減）となりました。

#### （ダイカスト部品）

ダイカスト部品につきましては、当社グループ製品に対する底堅い需要に対応した増産体制の整備を行うことにより、売上高8億69百万円（前年同四半期比46.3%増）、営業利益2億24百万円（前年同四半期比58.8%増）となりました。

#### （その他）

その他につきましては、引き続き、データ入力業務やソフトウェア開発等に関するサービスの提供を行い、売上高18百万円（前年同四半期比25.9%増）、営業損失2百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億55百万円増加し、182億98百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億67百万円増加し、127億25百万円となりました。これは、現金及び預金が10億86百万円増加し、原材料及び貯蔵品が5億23百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億88百万円増加し、55億72百万円となりました。これは、有形固定資産が2億24百万円増加したことなどによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7億35百万円減少し、53億83百万円となりました。これは、短期借入金が8億9百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ15億74百万円増加し、38億26百万円となりました。これは、長期借入金が15億65百万円増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ83百万円減少し、90億88百万円となりました。これは、利益剰余金が1億52百万円減少したことなどによります。

## (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前年同四半期連結累計期間末に比べ8億59百万円減少し、31億53百万円（前年同四半期末比21.4%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3億68百万円（前年同四半期は3億81百万円の支出）となりました。これは主に、固定資産売却益2億31百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益が25百万円、たな卸資産の減少4億62百万円、減価償却費1億95百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、3億7百万円（前年同四半期は1億24百万円の収入）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入3億17百万円、有形固定資産の売却による収入2億20百万円、投資有価証券の償還による収入1億98百万円などがあったものの、定期預金の預入による支出8億51百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、4億58百万円（前年同四半期末比275.0%増）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額7億62百万円、長期借入金の返済による支出3億84百万円、社債の償還による支出2億32百万円、自己株式の取得による支出1億3百万円などがあったものの、長期借入れによる収入19億50百万円などによるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間においては、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社企業グループ全体の研究開発活動の金額は、1億78百万円です。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	76,928,000
計	76,928,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,688,000	23,688,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	23,688,000	23,688,000		

(注) 提出日現在の発行数には、平成24年11月1日から本報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		23,688,000		1,904,150		1,806,607

## (6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
美馬大道	兵庫県宝塚市	1,484	6.27
ペガサスミシン製造株式会社	大阪府福島区鷺洲五丁目7-2	1,377	5.82
板東敬三	兵庫県西宮市	861	3.64
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	830	3.50
ペガサスミシン従業員持株会	大阪府福島区鷺洲五丁目7-2	828	3.50
前尾和男	和歌山県紀の川市	767	3.24
吉田隆子	京都市左京区	709	3.00
美馬成望	兵庫県西宮市	604	2.55
板東雄大	大阪府豊中市	529	2.23
美馬正道	大阪府八尾市	431	1.82
計		8,425	35.57

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,377,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,308,600	223,086	
単元未満株式	普通株式 1,500		
発行済株式総数	23,688,000		
総株主の議決権		223,086	

## 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ペガサスミシン製造株式 会社	大阪市福島区鷺洲 五丁目7-2	1,377,900		1,377,900	5.82
計		1,377,900		1,377,900	5.82

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役（製造副本部長兼 購買部長、 美馬精機株式会社代表取締役社長）	取締役（美馬精機株式会社 代表取締役社長）	美馬成望	平成24年8月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,055,261	4,142,082
受取手形及び売掛金	1 2,380,579	1 2,363,930
有価証券	199,875	-
商品及び製品	2,117,147	2,381,988
仕掛品	617,531	491,548
原材料及び貯蔵品	3,613,723	3,090,281
その他	286,254	279,703
貸倒引当金	12,302	24,153
流動資産合計	12,258,069	12,725,381
固定資産		
有形固定資産	4,299,716	4,524,142
無形固定資産	346,552	346,095
投資その他の資産	638,135	702,749
固定資産合計	5,284,404	5,572,987
資産合計	17,542,474	18,298,368
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 862,962	1 831,649
短期借入金	3,601,577	2,791,785
未払法人税等	200,026	221,704
賞与引当金	90,876	96,299
その他	1,363,084	1,441,829
流動負債合計	6,118,526	5,383,268
固定負債		
社債	366,000	281,000
長期借入金	861,552	2,426,818
退職給付引当金	319,734	343,113
その他	705,233	775,898
固定負債合計	2,252,520	3,826,831
負債合計	8,371,046	9,210,099
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,904,150	1,904,150
資本剰余金	2,050,473	2,050,473
利益剰余金	7,108,334	6,955,901
自己株式	291,490	394,610
株主資本合計	10,771,467	10,515,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,672	60,392
為替換算調整勘定	1,915,470	1,720,197
その他の包括利益累計額合計	1,947,142	1,780,589
少数株主持分	347,102	352,944
純資産合計	9,171,427	9,088,269
負債純資産合計	17,542,474	18,298,368

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,343,579	4,941,620
売上原価	4,132,663	3,377,305
売上総利益	2,210,916	1,564,315
販売費及び一般管理費	1,720,642	1,664,443
営業利益又は営業損失( )	490,273	100,127
営業外収益		
受取利息	29,744	27,409
受取配当金	4,153	3,412
不動産賃貸料	8,438	1,895
その他	4,304	5,185
営業外収益合計	46,641	37,902
営業外費用		
支払利息	49,517	48,569
為替差損	196,012	107,682
その他	11,435	9,935
営業外費用合計	256,964	166,186
経常利益又は経常損失( )	279,950	228,411
特別利益		
固定資産売却益	92,761	231,989
負ののれん発生益	-	22,411
特別利益合計	92,761	254,400
特別損失		
固定資産売却損	-	710
特別損失合計	-	710
税金等調整前四半期純利益	372,711	25,278
法人税、住民税及び事業税	178,782	87,075
法人税等調整額	45,211	71,848
法人税等合計	223,994	158,924
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	148,717	133,645
少数株主利益	20,651	18,787
四半期純利益又は四半期純損失( )	128,065	152,433

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	148,717	133,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,632	28,719
為替換算調整勘定	301,624	204,738
その他の包括利益合計	279,992	176,018
四半期包括利益	428,709	42,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394,730	14,119
少数株主に係る四半期包括利益	33,979	28,253

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	372,711	25,278
減価償却費	179,261	195,353
負ののれん発生益	-	22,411
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,918	12,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	32,066	23,379
デリバティブ評価損益(は益)	8,723	7,917
受取利息及び受取配当金	33,897	30,822
支払利息	49,517	48,569
為替差損益(は益)	67,163	36,914
受取賃貸料	8,438	1,895
固定資産売却損益(は益)	92,761	231,989
売上債権の増減額(は増加)	203,298	58,052
たな卸資産の増減額(は増加)	630,327	462,318
仕入債務の増減額(は減少)	209,606	64,978
未払金の増減額(は減少)	23,181	19,394
その他	21,962	32,773
小計	186,700	457,238
利息及び配当金の受取額	29,785	39,950
利息の支払額	48,689	49,062
法人税等の支払額	176,366	79,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,971	368,825
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	155,684	851,512
定期預金の払戻による収入	440,161	317,913
有形固定資産の取得による支出	251,597	94,167
有形固定資産の売却による収入	130,896	220,124
無形固定資産の取得による支出	28,656	2,963
投資有価証券の取得による支出	-	85,099
投資有価証券の償還による収入	-	198,678
投資不動産の賃貸による収入	7,110	1,887
その他	17,540	12,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	124,691	307,634
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	20,000	762,000
長期借入れによる収入	600,000	1,950,000
長期借入金の返済による支出	284,480	384,075
社債の償還による支出	212,500	232,103
自己株式の取得による支出	-	103,120
その他	891	10,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	122,128	458,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	90,792	23,719
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	44,358	542,924
現金及び現金同等物の期首残高	4,056,576	2,610,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,012,218 <sub>1</sub>	3,153,136 <sub>1</sub>

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
これによる、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高から除かれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	3,606千円	3,040千円
支払手形	117,722 "	63,601 "

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料及び手当	355,546千円	381,817千円
賞与引当金繰入額	34,161 "	35,338 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	4,230,557千円	4,142,082千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	218,339 "	988,945 "
現金及び現金同等物	4,012,218千円	3,153,136千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月24日 取締役会	普通株式	45,901	2.00	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,734,228	594,495	6,328,723	14,856	6,343,579		6,343,579
セグメント間の内部売上高 又は振替高				6,739	6,739	6,739	
計	5,734,228	594,495	6,328,723	21,595	6,350,319	6,739	6,343,579
セグメント利益又は損失( )	750,998	141,145	892,143	199	891,943	401,670	490,273

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト及びそれらの技術・サービスの開発・販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額 401,670千円には、セグメント間取引消去27千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 401,697千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,052,961	869,961	4,922,922	18,698	4,941,620		4,941,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高				8,138	8,138	8,138	
計	4,052,961	869,961	4,922,922	26,837	4,949,759	8,138	4,941,620
セグメント利益又は損失( )	87,209	224,185	311,394	2,337	309,057	409,185	100,127

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト及びそれらの技術・サービスの開発・販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額 409,185千円には、セグメント間取引消去27千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 409,212千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )	5円58銭	6円78銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	128,065	152,433
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	128,065	152,433
普通株式の期中平均株式数(株)	22,950,670	22,494,242
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	5円56銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	68,275	51,555
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2【その他】

第67期(平成24年4月1日から平成25年3月31日)中間配当については、平成24年10月29日開催の取締役会において、これを行わない旨を決議いたしました。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月5日

ペガサスミシン製造株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中 村 基 夫 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石 井 尚 志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているペガサスミシン製造株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ペガサスミシン製造株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。